

在宅介護実態調査「自動集計分析ソフト」の「説明書」

1 在宅介護実態調査「自動集計分析ソフト」とは？

- ・ 在宅介護実態調査は、アンケート調査（在宅介護実態調査）で得られた回答結果と要介護認定データを接続させることにより、より詳細な分析を行うことが可能です。
- ・ 一方で、「アンケート調査結果」と「要介護認定データ」の2つのデータを被保険者番号で接続させるなど、集計分析にはやや複雑な作業が必要になります。
- ・ 在宅介護実態調査「自動集計分析ソフト」は、在宅介護実態調査の集計分析の負担を軽減するため、「①アンケート調査結果のチェック」、「②要介護認定データの読み込み」、「③データの接続」、「④集計・グラフの作成」、「⑤Word ファイルへの出力」、「⑥PPT ファイルへの出力」を自動で行うことができるソフト（Excel マクロ）です。
- ・ 第7期介護保険事業計画の作成の際に提供が開始され、その後細かなバージョンアップを繰り返してきましたが、2023 年1月・3 月に第9期計画の作成に向けて一部の機能を充実させました。

2 2023 年1月・3 月の更新で、何が変わったの？

- ・ 1 月の更新では、集計結果を Word ファイルに出力する際に、集計結果について簡単なコメントを記載する機能を設けました（回答割合の高い選択肢を記載するなど）。また、3 月の更新では、PPT ファイルに出力する機能を設けました。
- ・ Office2013、2016、2019、Office365（32 ビット版／64 ビット版）の各バージョンで動作確認を行い、安定性が向上しました（※ただし、分析を行う環境によってはエラーが発生する場合もございます）。

3 自動集計分析ソフトの「シートの構成」

自動集計分析ソフト(Excel)は、以下の8つのシートから構成されています。

<シートの構成>

シートの名称	概要
◆操作シート	<ul style="list-style-type: none"> ○ Excel マクロを実行するための、7つのボタンが配置されています。 ○ STEP1～STEP6のボタンを押すことで、在宅介護実態調査の「集計分析結果」を Word ファイルまたは PPT ファイルで出力することができます。 ○ シート上には、STEP1～STEP6の VBA を実行する際の注意点などを記載していますので、実行する前に一通り、目を通してください。 ○ 編集ロックがかかっていますので、「自治体名の入力」以外の変更を行うことはできません。
【入力例】 アンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート調査結果の入力ルールと入力例を示しています。
アンケート調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ○ シート「【入力例】アンケート調査結果」をご覧ください、入力ルールに従って、アンケート調査結果を入力してください。
要介護認定データ	<ul style="list-style-type: none"> ○ STEP2 で要介護認定データを読み込むと、このシートにデータが入力されます。 ○ 入力されていないデータ項目名は非公開です。お問い合わせなどは、ご遠慮ください。
アンケート+ 認定データ	<ul style="list-style-type: none"> ○ STEP3 でデータの接続を行うと、このシートにデータが入力されます。 ○ 入力されていないデータ項目名は非公開です。お問い合わせなどは、ご遠慮ください。
集計結果(実数)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初期状態では、空白シートになっています。
集計結果(%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ STEP4 で集計・グラフ作成を行った際に、集計結果が入力されます。
グラフ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初期状態では、空のグラフが表示されています。 ○ STEP4 で集計・グラフ作成を行った際に、集計結果が表示されます。 ○ 初期状態で表示されているグラフについて、誤って削除や参照先の変更等をしないようご注意ください。

Sheet_ [◆操作シート]には、STEP1～STEP6 のボタンが配置されており、順番にボタンを押すことで在宅介護実態調査の「集計分析結果」を Word ファイルファイルまたは PPT ファイルに出力することができます。

<「◆操作シート」の画面>

Ver. 20230307

在宅介護実態調査_自動集計分析ソフト

※ 以下のSTEP1～STEP6のボタンを押し、「在宅介護実態調査」の集計分析レポートをWordファイル、PowerPointファイルに出力します。

※ 使用前に、Sheet_ [アンケート調査結果]シートに在宅介護実態調査の調査結果を入力してください。また、認定ソフトから出力した要介護認定データ（csvファイル）をご準備ください。

STEP 0

- 在宅介護実態調査の調査結果を入力する

都道府県名 市区町村名
●●県 ▲▲市 ← 都道府県名と市区町村名を入力してください。

STEP 1

- 調査結果をチェックする

アンケート調査結果チェック

STEP1: アンケート調査結果チェック

- ◆ Sheet_ [アンケート調査結果]の入力内容にエラーがないかチェックします。

【チェックする内容】

- ・A票_問2が1のとき、A票_問3～7およびB票の全ての設問が“*”であること
- ・A票_問13が1のとき、A票_問14が“*”であること
- ・B票_問1が3または4のとき、B票_問2～4が“*”であること
- ・B票_問3および問5について、選択している選択肢の数が3つ以下であること
- ・その他、「わからない」や「なし」が選択されているとき、その他の具体的な選択肢が選択されていないこと

- ◆ エラーがある場合は、エラーのあるサンプルの被保険者番号とエラー該当セルが橙色で表示されますので、必要に応じて修正

STEP 2

- 要介護認定データのCSVを読み込む

要介護認定データの読み込み

STEP2: 要介護認定データの読み込み

- ◆ 認定ソフトから出力した要介護認定データ(csvファイル)を読み込み、Sheet_ [要介護認定データ]に転記します。

読み込まれた「要介護認定データ」を確認し、内容が正しいこと、項目がずれていないこと等をご確認ください。

- ◆ アンケート調査結果と関連付ける際に使用する「被保険者番号」は頭の「0」を削除した状態(文字列ではない状態)にしてください。

STEP 3

- アンケート調査結果と要介護認定データを「被保険者番号」で接続する

データの接続

STEP3: データの接続

- ◆ Sheet_ [アンケート調査結果]とSheet_ [要介護認定データ]を「被保険者番号」で関連付けた接続データを、Sheet_ [アンケート+認定データ]に出力します。B列とF列の被保険者番号が一致していることをご確認ください。

- ◆ なお、Sheet_ [アンケート調査結果]とSheet_ [要介護認定データ]の「被保険者番号」が、列幅が狭いため「1E+09」などと短縮されて表示

STEP 4

- 集計を実行する

集計・グラフの作成

STEP4: 集計・グラフの作成

- ◆ Sheet_ [集計結果(実数)]とSheet_ [集計結果(%)]、Sheet_ [グラフ]にそれぞれ集計結果が出力されます。

- ◆ 集計結果について独立性の検定の実行の有無を選択することが可能です。

- ◆ Sheet_ [グラフ]には使用するグラフの様子が用意されています。誤って削除したり、内容を変更したりしないようご注意ください。

- ◆ グラフ内に表示されるラベルが重なって読みづらい場合等は、Wordファイルに出力する前に、手動でご調整ください。

STEP 5

- 集計結果をWordに出力する

Wordファイルへの出力 (単純集計版)

Wordファイルへの出力 (クロス集計)

STEP5: Wordファイルへの出力

- ◆ 「単純集計版」は単純集計の結果を、「クロス集計版」は、テーマごとに「集計・分析の狙い」や「着目すべきポイント」等を記載した詳細な結果

STEP 6

- 集計結果をPowerPointに出力する

PowerPointファイルへの出力

STEP6: PowerPointファイルへの出力

- ◆ 予めPOTに保存されているPowerPointのベースファイルを指定していただくと、集計結果のグラフを貼り付けます。

- ◆ その後は、必要に応じてファイルの内容を修正・加工してご活用ください。

4 「認定ソフト 2021」からの要介護認定データの出力方法

- STEP2の要介護認定データの読み込みを行うには、事前に「認定ソフト 2021」から要介護認定データを出力する必要があり、出力方法は以下のとおりです。なお、①については、国保中央会へ報告済みのデータは「認定情報管理」ボタンではなく、「履歴情報管理」ボタンから出力します。
- 「認定情報管理」と「履歴情報管理」の2つのボタンから出力した場合は、在宅介護実態調査の自動集計分析ソフトで読み込む前に2つの CSV ファイルを1つに統合してください。

<「認定ソフト 2021」からの「要介護認定データ」の出力方法>

認定ソフト 2021 からの認定データの出力方法

STEP①
認定ソフト2021を起動し、メニュー画面の下にある「認定情報管理」ボタンを押します。





STEP②
検索条件の入力項目に集計対象とするデータ情報（主に期間）を入力します。

STEP③
「検索」ボタンを押すと、検索条件項目に該当する被保険者の一覧が表示されます

STEP④
全件選択されている状態を確認し、「選択」ボタンを押します。

STEP⑤
「認定情報抽出」ボタンを押します。

STEP⑥
抽出確認画面が表示されますので、任意のファイル名を指定し「抽出」ボタンを押します。
※このとき、既存のファイル名を指定すると上書きされてしまいますのでご注意ください。

(出典)在宅介護実態調査 ～実施のための手引き～(厚生労働省老健局介護保険計画課 令和4年8月版)

「認定ソフト 2021」からの出力データのレイアウトは以下の通りです(認定情報管理と履歴情報管理のいずれから出力した場合も同じです)。

なお、その他のデータ項目については非公開となっています。

<「認定ソフト 2021」からの「要介護認定データ」の出力方法>

カラム	データ名
2	被保険者コード
9	年齢
11	性別コード
66	二次判定結果
74	現在の状況
75	訪問介護(ホームヘルプ)
76	訪問入浴介護
77	訪問看護
78	訪問リハビリテーション
79	居宅療養管理指導
80	通所介護(デイサービス)
81	通所リハビリテーション
82	短期入所生活介護(ショートステイ)
83	短期入所療養介護
84	特定施設入居者生活介護
85	福祉用具貸与
86	特定福祉用具販売
87	住宅改修(介護給付)
88	夜間対応型訪問介護
89	認知症対応型通所介護
90	小規模多機能型居宅介護
91	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
92	地域密着型特定施設入居者生活介護
93	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
94	訪問型サービス
95	介護予防訪問入浴介護
96	介護予防訪問看護
97	介護予防訪問リハビリテーション
98	介護予防居宅療養管理指導
99	通所型サービス
100	介護予防通所リハビリテーション
101	介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)
102	介護予防短期入所療養介護
103	介護予防特定施設入居者生活介護
104	介護予防福祉用具貸与
105	特定介護予防福祉用具販売
106	住宅改修(予防給付)
107	介護予防認知症対応型通所介護
108	介護予防小規模多機能型居宅介護
109	介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
184	障害高齢者自立度
185	認知症高齢者自立度
208	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
209	看護小規模多機能型居宅介護

「現在の状況」は、集計分析には直接使用しませんが、在宅介護実態調査の対象者は、「現在の状況」における「1.居宅(施設利用なし)」、「12.軽費老人ホーム」、「13.有料老人ホーム」、「14.サービス付き高齢者向け住宅」の方です。集計対象の方が、この条件に当てはまっているかご確認ください。

なお、「年齢」には「年齢」が、「サービス利用の状況」には、該当するサービスの利用回数が記載されています。

カラム11

性別

1	男
2	女

カラム66

二次判定結果

01	非該当
12	要支援1
13	要支援2
21	要介護1
22	要介護2
23	要介護3
24	要介護4
25	要介護5
31	再調査
88	取消
99	なし

カラム74

現在の状況

1	居宅(施設利用なし)
2	介護老人福祉施設
3	介護老人保健施設
4	介護療養型医療施設
5	認知症対応型協働生活介護適用施設(グループホーム)
6	特定施設入居者生活介護適用施設
7	医療機関(医療保険適用療養病床)
8	医療機関(療養病床以外)
9	その他の施設等
10	介護医療院
11	養護老人ホーム
12	軽費老人ホーム
13	有料老人ホーム
14	サービス付き高齢者向け住宅

カラム184

障害高齢者の日常生活自立度

1	自立
2	J1
3	J2
4	A1
5	A2
6	B1
7	B2
8	C1
9	C2

カラム185

認知症高齢者の日常生活自立度

1	自立
2	I
3	Ⅱa
4	Ⅱb
5	Ⅲa
6	Ⅲb
7	Ⅳ
8	M
9	記載なし

自動集計分析ソフトの「Q & A」

Q1

自動集計分析ソフトが、動きません。

一番考えられる原因は、マクロのセキュリティの設定が無効になっているケースです。以下のサイトなどをご覧ください、設定の変更をお試しください。

[Excel マクロのセキュリティ設定を変更する](#)

その他、各 PC の設定や個別のセキュリティ環境などが原因で動作しないケースも想定されます。その場合は、他の環境や PC を使用するなどの方法をお試しください。

Q2

B 票の間 5 について、「3 つまで選択可」となっていますが、4 つ以上回答している人がいます。どのようにしたら良いでしょうか。

自動集計分析ソフトでは、B 票の間 5 について 4 つ以上選択している場合は、「STEP1:アンケート調査結果チェック」でエラーとなり、集計することができなくなります。

自動集計分析ソフトを使用する場合は、該当する回答を「無回答」扱いとしてください。4 つ以上選択している回答が多く、集計に含めたい場合は、該当する分析のみお手元で集計をお願いします。

Q3

P.5 に記載されているデータ以外の項目名が、わかりません。

P. 5 に記載されている以外のデータの項目については、非公開になっております。ご容赦ください。

Q4

コロナ禍で、認定調査を実施せずに有効期間が延長されているケースがあり、要介護認定データにデータがないため集計ができません。

認定調査をせずに延長をしているということは、前回の認定調査の時から状態や状況に大きな変化がないものと考えられます。本来は望ましくありませんが、前回の認定結果を使用して分析するなどの対応が考えられます。

Q5

P. 4 の方法で出力した CSV ファイルに、大半のデータが入っていません。

稀に、P. 4 の方法で出力された CSV ファイル内に必要なデータがほとんど入っていないケースが報告されています。

このようなケースは、各市区町村における個別要因によるものと思われ、こちらでも対応が難しくなりますので、各市区町村の担当ベンダーなどにご相談ください。

Q6

P.4 の抽出方法ですが、「認定情報管理」と「履歴情報管理」のどちらから CSV ファイルを出力すれば良いのでしょうか。

国保中央会へ報告前のデータは「認定情報管理」ボタン、報告後のデータは「履歴情報管理」ボタンから出力することになります。

「認定情報管理」と「履歴情報管理」の 2 つのボタンから出力した場合は、在宅介護実態調査の自動集計分析ソフトで読み込む前に 2 つの CSV ファイルを 1 つに統合（列が一致するようにコピーペースト）してください。

Q7

独立性の検定とは何ですか。

独立性の検定は、クロス集計を行った際に、分類基準の間（例えば、異なる要介護度間）の集計結果に関連があるかどうかを、統計的に検証するものです。

以下の報告書の P.51～53 に説明がございますので、ご参照ください。なお、以下の報告書にも記載していますが、検定結果はあくまで参考情報としてご覧ください。

（参考資料）

[平成 30 年度 老人保健健康増進等事業「要介護認定データを活用した地域分析手法に関する調査研究事業」](#)、[三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社\(P.51～53\)](#)